# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

### 1-1．概要

- 精神的な豊かさをもたらす文化・スポーツ分野の開発を推進することにより、人間中心の開発を進め、「『質の高い成長』とそれを通じた貧困削減」を実現することを目的に、開発途上国の政府機関に対し、文化・高等教育振興に使用される資機材の購入や施設の整備を支援するもの。
- 日本のソフトパワー等の日本の強みを活かした支援を行うことにより、親日感情の醸成や対日理解促進に特に高い効果が期待できる分野であり、このような外交政策上の観点も踏まえつつ実施。
- 創設時の昭和50年度から令和２年度までに1442件、総額約699.2億円の協力を実施。（注：一般文化無償資金協力は、昭和50年度に創設された文化無償資金協力と平成12年度に創設された文化遺産無償資金協力を統廃合する形で平成17年度に発足。）

- **令和元年度予算 ：**無償資金協力予算の内数
- **令和元年度実績：**閣議決定ベース６件（約9.35億円）

（※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大のため、候補案件の現地調査等ができなかったことから新規案件を実施せず）

- **実施規模：**
  - 機材案件：年1回要望調査。毎年20件前後の要望から5件程度を調査対象として選定。
  - 施設案件：通年申請。数年に一度要望あり。予算規模は案件次第。
- **これまでの具体例：**
  - **文化施設（博物館，劇場等）の整備，展示機材・照明機材・音響機材等の供与**
  - **遺跡修復・保存・活用のための機材供与（修復人件費等ソフト支援は対象外）**
  - **スポーツ施設の整備、スポーツ機材の供与（日本武道を含む）**
  - **テレビ番組制作機材等**

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-2. ＰＤＣＡサイクルに沿った業務の流れ

**前段階**

◆途上国からの要望、現地ODA-TFでの検討等をJICA事務所で取りまとめ

PLAN

◆事前の調査案件の選定
（文化交流分野を含む外交政策、国別開発協力方針等を踏まえ検討）

**調査・審査段階**

◆選定された調査対象案件の現地調査をJICAが実施（コンサルタント業者に委託）
・機材案件（機材計画調査）
・施設案件（協力準備調査）

◆調査結果を踏まえ、設計・積算方針設定

**承認段階**

◆財務省との協議

◆閣議決定

◆交換公文（E/N）
◆贈与契約（G/A） の締結

DO

**実施段階**

◆相手国政府に対してコンサルタント推薦、契約、契約認証

◆入札

◆業者契約、契約認証

◆機材の調達/施設の建設

◆完工

CHECK

◆事後監理
（JICAが実施する全ての無償資金協力案件から）
事後監理等を通じての教訓、好事例の抽出
次年度以降の要望調査等への反映
政策決定過程や事業実施へ適切にフィードバック

ACTION

# 一般文化無償資金協力

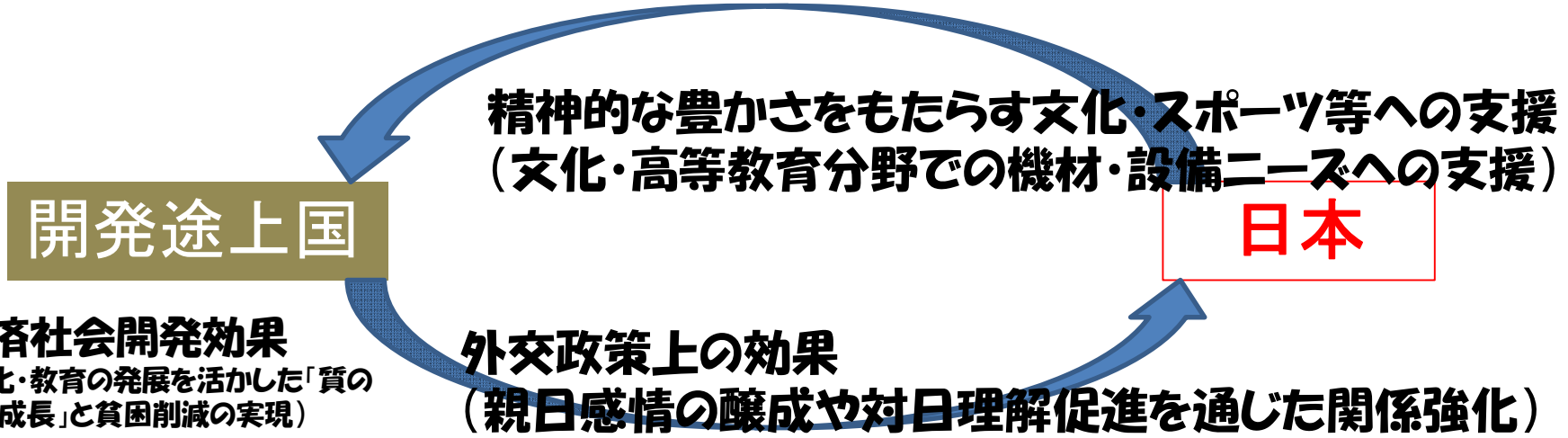


## 1．一般文化無償資金協力の概要

### 1-3．案件を選定する際の評価基準

| | |
|---|---|
| 外務省 | ●「『質の高い成長』とそれを通じた貧困削減」の実現に向けた、人々の基礎的生活を支える人間中心の開発を推進するための「精神的な豊かさをもたらす文化・スポーツ」への支援に該当するか。また、日本のソフトパワーを活用した「日本の強みを活かした協力」に該当するか。<br>●当該案件を文化無償で支援する意義・妥当性（分野、目的、開発効果等）、二国間関係及びその他重要外交政策上の実施意義。 |
| JICA | 開発面での効果や既存のJICA事業との関係（重点分野・協力プログラムとの関連性）、施設・機材等の運営・維持管理の持続性の観点等。 |

### 1-4．事業効果



# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（1）

### 番組制作機材及び我が国の教育・ドキュメンタリー番組ソフト整備

**経済社会開発効果**

- 国民の教養の涵養および自己啓発促進
- 番組の質の向上を通じた国民への基礎的社会サービスの提供やその質の改善
- 経済及び民主主義発展のためのインフラ整備、国民の民主主義意識の醸成

**外交的視点からの評価**

- 日本の教育番組やドキュメンタリーを通じた対日理解の促進、親日感情の醸成
- 現地メディアとの連携強化による我が国の情報発信の強化

平成28年度対マラウイ国「マラウイ放送協会テレビ放送機材及び番組ソフト整備計画」

新しく整備されたマイクとカメラ

サブコントロールルーム

スタジオ機材は毎日使用され、大統領選の政治番組やスポーツ番組等で活用されている。令和元年までに供与したドキュメンタリー14本はすべて5回放映、教育番組148本もすべて放映済。同協会は、同国独自のコンテンツ作成のための機材や日本から学ぶことの多い分野での質の高いコンテンツがマラウイの開発に貢献していると評価。

平成29年度対ガーナ国「ガーナ放送協会テレビ番組制作機材整備計画」

整備されたスタジオ撮影機材を活用した生放送の様子

屋外での取材・撮影が可能となり、ニュース提供の幅が広がり、映像の質も向上。機材により毎日4～8本の番組を制作。大統領戦での選挙報道でも活用されるほか、引渡し式の模様や本事業に関わるﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ番組も作成、放映。情報大臣自らFacebookで本件の日本支援を紹介。

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（2）

### 博物館建設、文化遺産修復

**経済社会開発効果**

- 国民の歴史文化遺産保全の理解の促進
- 経済社会発展を進める上での自尊心の醸成
- 自立的・持続的な産業振興と質の向上

**外交的視点からの評価**

- 国民の誇りである文化遺産に協力し、国民の心に直接訴えかけることで親日感情を醸成
- 二国間関係の強化

平成25年度対ヨルダン国「ペトラ博物館建設計画」
（平成27年度に追加支援）

博物館内には約300点の遺物が展示され、6本の映像と22台のタッチパネルで来館者に様々な情報を提供。

開館式にはフセイン皇太子殿下が出席。日本の支援に謝意表明。

平成28年度対パレスチナ「ジェリコ・ヒシャム宮殿遺跡大浴場保護シェルター建設及び展示計画」（実施中）

平成30年5月2日に安倍総理夫人（当時）が、マアーヤア観光遺跡大臣の案内でヒシャム宮殿を訪問。同大臣から、同宮殿のモザイク床を保護しつつ展示するための施設を整備する支援に対して、謝意が示された。

現在はコロナのため閉館中であるが、2019年7月～2020年3月までの来場者数は、月間約13,000人。

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（3）

### スポーツ施設・設備

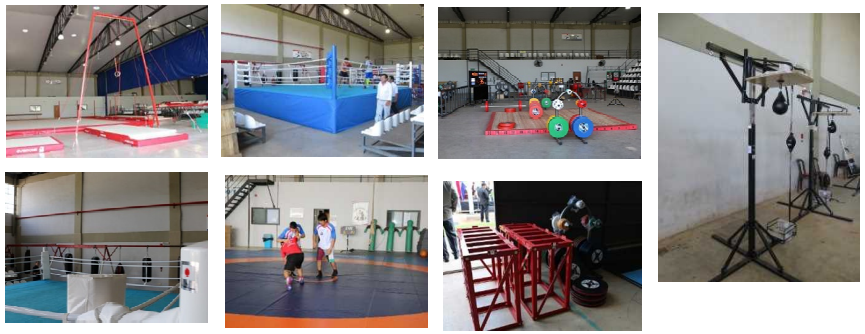
**経済社会開発効果**

- スポーツ振興及び健康に対する意識の促進
- 青少年育成

**外交的視点からの評価**

- 日本の武道、及び日本のスポーツ振興の取組への理解促進
- 親日感情の醸成

平成27年度対パラグアイ国「スポーツ庁訓練センター器材整備計画」



整備された機材の一部

ペッチスポーツ庁長官及びロペス・モレイラ国内オリンピック委員会会長が供与式に出席

●重量挙げ：20人程度グループが、週5日朝昼夜に2～3時間の練習に使用
●柔道：月～土に子供、青少年、大人対象の無料柔道教室開催。
●ボクシング：週5の練習に使用。
●体操：初中上級者体操教室として使用され、国内選考大会や国代表レベル選手の練習に使用。
●レスリング：月～土の朝と夕方にﾚｽﾘﾝｸﾞ教室等実施。
●空手：スポーツ庁による空手教室、国代表選手の練習や各種大会に使用。
JICA青年海外協力隊（レスリングと重量挙げ）が過去に派遣されており、供与機材を用いて選手強化に貢献。

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（4）

### 日本語教育及び高等教育への支援

**経済社会開発効果**
- 日本語教育を含む教育の普及と発展
- 人材の育成

**外交的視点からの評価**
- 日本語教育を通じた対日理解の促進、親日感情の醸成
- 二国間関係の強化

平成23年度対スリランカ国「ケラニア大学及びサバラガムワ大学日本語学習機材整備計画」

ケラニア大学 整備前 → 整備後

サバラガムワ大学 整備前 → 整備後

ケラニア大学では、日本語専攻の学生約180名が利用しており、日本語能力向上に寄与。サバラガムワ大学では、整備により日本語専攻学生数が60名から80名に増加。日本語専攻学生の半数が日本語能力試験N2レベルに合格している。

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（5）

### 文化施設・団体の施設整備、音響・照明、楽器等の機材整備

**経済社会開発効果**

- 国民生活の質の向上に向けた社会サービス提供のための基盤整備
- 文化分野での人材育成、教育の普及
- 持続可能な経済発展の促進

**外交的視点からの評価**

- 親日感情の醸成
- 二国間関係の強化

平成24年度対コソボ国「コソボフィルハーモニー交響楽団楽器整備計画」

整備された機材の一部

コソボフィルハーモニー交響楽団、
竹歳大使とクラスニーチー文化相

本件協力により、同楽団は年間20～25回のコンサートを開催。独立記念日や大統領就任式と言った国家の特別式典でも演奏を行っている。2019年夏に、同楽団の首席指揮者を務める柳沢寿男氏の指揮で野外コンサートを開催し、2000名の聴衆が集まった。

# 一般文化無償資金協力



## 1．一般文化無償資金協力の概要

## 1-5．分野別の協力効果（6）

### 公文書や映像資料等の保存・デジタル化のための機材供与

**経済社会開発効果**

- 文化的価値のある資料の長期的保存及び国民のアクセス向上を通じた民主主義発展のためのインフラの整備、国民の民主主義意識の醸成

**外交的視点からの評価**

- 親日感情の醸成
- 二国間関係の強化

平成28年度対アルメニア国「アルメニア公共テレビ局映像資料デジタル化機材整備計画」

整備された機材の一部

供与式に出席したパシニャン首相

機材の説明を受けるパシニャン首相

現在、供与機材は週6日の頻度で使用。1か月あたり約50本のテープのデジタル化と色の修正を実施。これまでに約400件の映像の保存とメガデータのファイリングを実施。

# 一般文化無償資金協力



## 2．事業のモニタリングと改善の取組（PDCA）

**PLAN**

- 途上国からの要望、現地ODA-TFでの検討等をJICA事務所で取りまとめ
- 事前の調査案件の選定（文化交流分野を含む外交政策、国別開発協力方針等を踏まえ検討）
- 選定された調査対象案件の現地調査をJICAが実施（コンサルタント業者に委託）
- 調査結果を踏まえ、設計・積算方針設定
- 財務当局との協議
- 閣議決定

**DO**

- 交換公文（E/N）、贈与契約（G/A）の締結
- 入札
- 業者契約、契約認証
- 完工
- 支払い

**CHECK**

- 事後監理
  - 随時実施
  - 機材・施設の活用状況、成果の発現状況、問題の有無等を確認
  - 必要に応じ、機材・施設の更新、修理、維持管理に係る指導等、を実施

**ACT**

- （JICAが実施する全ての無償資金協力案件から）事後監理等を通じての教訓、好事例の抽出
- 次年度以降の要望調査等への反映

# 一般文化無償資金協力



## 2．事業のモニタリングと改善の取組（PDCA）

### 過去案件からの教訓・実施上の留意点

- 一般文化無償において、2011年度以降に事後評価を実施した案件は4件。
- うち3件は、総合的な「評価は高い」。他方、以下案件において「評価は低い」とされており、当該案件での教訓と、それを踏まえた対応は以下のとおり。

**2009年度グアテマラ「ティカル国立公園文化遺産保存研究センター建設計画」**

- **【事例】**政権交代の影響を受け、実施機関の政権内での優先度や予算配分の仕組みが変更。事業完了後、施設・機材の維持管理に必要な人員配置及び予算措置がなされず、文化遺産の保存・修復作業が計画どおりに行われなかった。
- **【事例を踏まえた対応**（2019年度ホンジュラス「コパン遺跡博物館展示機材整備計画」等）**】**案件形成時・調査時において、政権交代等、予期できない状況の変化も念頭に、実施機関における施設・調達機材の運用・維持管理に必要な人員の配置や予算確保について書面で合意。

**その他、事後監理を通じて抽出された教訓を踏まえた留意点の事例**

- 番組ソフトの放送配信方法、配信範囲等の確認。
- 博物館等の適時開館に向けた展示関連作業及び開館後の運営維持管理に係る体制確認。
- スポーツ施設・設備の使用者のレベル、使用経験有無、使用頻度等を踏まえた機材選定。
- 価格帯の広い楽器にかかる、適切な仕様の設定、調達時の公平性・競争性の確保。使用木材の輸出入規制の有無の確認。

# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

※表中「評価」欄に記載の内容は、時点の記載があるものを除き、2021年5月時点の状況。

令和2年度

*※新型コロナウイルス感染拡大のために、候補案件の現地事前調査等ができなかったことから新規案件を実施せず。*

令和元年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 欧州 | 北マケドニア | 国立オペラ・バレエのための楽器・音響・照明機材整備計画 | 0.80 | 2019/12/11 | 国立オペラ・バレエに対して、公演等に必要となる楽器・音響・照明機材を整備するもの。 | 国立オペラ・バレエの公演における質的向上を図り、北マケドニアの文化・芸術を通じた青少年の人材育成及び多民族間における民族融和・相互理解を促進。 | 実施中<br>（完成予定 2021年7月） |
| 中南米 | ホンジュラス | コパン遺跡博物館展示機材整備計画 | 0.94 | 2020/3/12 | コパン遺跡の博物館の展示環境の整備を行うもの。 | 展示環境の改善と博物館の魅力向上を図り、文化遺産保護及び地域活性化に貢献。 | 実施中<br>（完成予定 2022年10月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| 欧州 | モルドバ | 国立図書館デジタル化機材整備計画 | 0.44 | 2020/6/29<br>（発効は10/5） | 国立図書館に対し、デジタルアーカイブ化機材を整備するもの。 | 文化的価値のある資料の長期的保存及び広く国民に対し閲覧機会を提供できる環境整備を図り、公共サービスの質の向上に貢献。 | 実施中<br>（完成予定 2022年3月） |
| 中東 | アフガニスタン | バーミヤンにおける世界遺産の持続可能な管理計画（UNESCO連携） | 4.23 | 2020/2/26 | 西大仏の壁龕（へきがん）修復及び国立バーミヤン世界遺産センター設立等を実施するもの。 | バーミヤン世界遺産の危機遺産リストからの脱却を図るとともに、アフガニスタンの持続可能な文化遺産保護、雇用創出や経済振興に貢献。 | 実施中<br>（完成予定　2023年3月） |

# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成30年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アフリカ | コンゴ民 | 柔道スポーツ施設建設計画 | 13.95 | 2018/5/28 | コンゴ民主共和国初となる観客席を備えた屋内スポーツ施設の建設及び機材を整備するもの。 | 柔道等の武道を中心としたスポーツ振興及び青少年の健全な育成を図り、国内の平和の定着に貢献。 | 実施中<br>（完成予定　2022年6月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| アフリカ | マダガスカル | マダガスカル国営テレビ局番組制作機材及び番組ソフト整備計画 | 1.64 | 2019/3/27 | マダガスカル国営テレビ局に対して、テレビ番組制作に必要な機材及び番組ソフトの整備を行うもの。 | 国営テレビ局の番組制作能力向上を図り、国民に提供される情報の多様化や放送を通じた学びの機会拡大に貢献。 | 実施中<br>（完成予定　2023年2月） |
| 中南米 | ペルー | ピスカクチョ地区のマチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンター展示機材整備計画 | 0.75 | 2021/3/18<br>（4/20発効） | ピスカクチョ地区にあるマチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンターに対して、展示機材を整備するもの。 | 国内外からの訪問者や地域住民に対する自然・文化資源保護に関する啓発活動を促進し、自然・文化遺産の保護に貢献。 | 実施中<br>（完成予定 2023年5月） |

平成29年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E/N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中央アジア・コーカサス | アルメニア | 歴史文化遺産科学研究センター考古学資料修復・保存機材整備計画 | 0.7 | 2018/2/16 | アルメニア文化省傘下の歴史文化遺産科学研究センターに対して、出土品の修復・保存機材を整備するもの。 | 文化遺産保護促進を図り、国民の自国の遺産や文化への関心醸成、理解促進に貢献。 | 実施中<br>（完成予定　2021年9月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| アフリカ | コートジボワール | コートジボワール国営新聞・出版新社印刷工程及びデジタルアーカイブ機材整備計画 | 0.5 | 2018/3/15 | コートジボワール唯一の国営新聞・出版社であるコートジボワール国営新聞・出版新社に対して、製版及びデジタルアーカイブに必要な機材の整備を行うもの。 | 新聞の安定的な供給や歴史資料の保存・継承を図り、コートジボワールが推進する国民和解と社会の調和、民主主義の推進に貢献。 | 実施中<br>（完成予定　2021年9月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| アフリカ | ガーナ | ガーナ放送協会テレビ番組制作機材整備計画 | 0.9 | 2018/3/8 | ガーナ唯一の国営放送局であるガーナ放送協会に対して、テレビ番組制作に必要な機材整備を行うもの。 | 番組の質の向上を図り、国民に対する質の高い放送サービスの継続的な提供や国民間の情報共有の促進に貢献。 | 平成30年12月完了。屋外での取材・撮影が可能となり、ニュース提供の幅が広がり、映像の質も向上。機材により毎日4～8本の番組を制作。大統領選での選挙報道でも活用されるほか、引渡し式の模様や本事業に関わるﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ番組も作成、放映。情報大臣自らFacebookで本件の日本支援を紹介。 |

# 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成28年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 中東 | パレスチナ | ジェリコ・ヒシャム宮殿遺跡大浴場保護・展示シェルター建設計画（3か年国債） | 12.4 | 2016/9/6 | イスラム建築の代表的な文化遺産であり観光資源でもあるヒシャム宮殿遺跡のモザイク床を保護しつつ、展示のための施設を整備するもの。 | 文化遺産の保全と活用を両立し、同地域の持続的な経済成長促進およびジェリコ及びヨルダン渓谷の経済社会開発を目的とした「平和と繁栄の回廊」構想の下での観光回廊整備に貢献。 | 実施中<br>（完成予定 2021年6月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| アフリカ | マラウイ | マラウイ放送協会テレビ放送機材及び番組ソフト整備計画 | 0.71 | 2017/2/17 | マラウイ唯一の国営放送局であるマラウイ放送協会に対して、番組制作機材の整備及び我が国の教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | マラウイ放送協会の番組の質の向上を図り、国民への基礎的社会サービスの提供やその質の改善、日本に対する理解の促進に貢献。 | スタジオ機材は毎日使用され、大統領選の政治番組やスポーツ番組等で活用されている。令和元年までに調達したドキュメンタリー14本はすべて5回放映、教育番組148本中84本を放映済み。また自社制作番組は現在69本／月を放映。同協会は、同国独自のコンテンツ作成のための機材や日本から学ぶことの多い分野での質の高いコンテンツがマラウイの開発に貢献していると評価。 |
| 中央アジア・コーカサス | アルメニア | アルメニア公共テレビ局映像資料デジタル化機材整備計画 | 1.38 | 2017/3/30 | アルメニア唯一の公営テレビ局であるアルメニア公共テレビ局に対して、映像資料デジタル化機材の整備を行うもの。 | 国民による映像へのアクセス環境の改善を図り、経済発展のための制度・インフラ整備と地域開発及び防災対策の強化に貢献。 | 調達機材は週6日の頻度で使用。1か月あたり約50本のテープのデジタル化と色の修正を実施。これまでに約400件の映像の保存とメガデータのファイリングを実施（目標では80件／月）。 |
| 中央アジア・コーカサス | ウズベキスタン | タシケント情報技術大学メディア訓練センター機材整備計画 | 1.88 | 2017/12/6 | ウズベキスタンで唯一テレビ技術を専門とする学部を有するタシケント情報技術大学に設立されるメディア訓練センターに対して、メディア教育機材等の整備を行うもの。 | 同大学の学生らの教育・実習環境の改善を図り、市場経済化の促進と経済・産業振興のための人材育成・制度構築に貢献。 | 令和元年10月～令和3年4月の間、同大学でテレビ技術専攻生156名（目標140名）、コンピューターエンジニアリング専攻生91名が、録音、照明技術、メディアコンテンツ編集等38科目の分野で訓練を受けた。計4,134時間の講義を実施済み（目標2,860時間）。コロナ禍により、オンライン形式訓練に移行したが、同大学及び他の高等教育機関により、1,000本以上のビデオ講義が作成。令和2年に在ウズベク大のプレスツアーにより7件のメディアで取り上げられた。 |
| 中東 | レバノン | 国立科学研究評議会考古学研究機材整備計画 | 0.73 | 2017/3/31 | 考古遺産の科学的分析を担う国立科学研究評議会に対して、考古学研究機材（顕微鏡、精密切断機等）の整備を行うもの。 | 文化遺産のより詳細な分析を図り、レバノン国民の歴史・文化への関心の醸成に貢献。 | 調達機材により、22の調査プロジェクトにおいて（目標180に対し）710の遺物を科学的に分析、約450時間稼働している。2018年～2019年の間に、供与機材を活用して11の論文が出版。これは、平成28年～平成29年に出版されたものの3倍の数値。 |

# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

### 3-1．過去10年の実績

平成27年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アジア | フィリピン | 国民テレビ放送網番組ソフト整備計画 | 0.38 | 2016/6/17 | 国営放送局に対して、日本のテレビ番組ソフトの整備（ドキュメンタリー番組164本、教育番組522本）を行うもの。 | 良質な教育・ドキュメンタリー番組の放送を図り、我が国の文化や技術の紹介を通じた対日理解の促進、災害復旧や防災に関する知見の共有や学校教育の補完に貢献。 | 平成30年10月より以下のとおり放送実施。<br>（月）～（金）10時～11時 教育番組<br>16時15分～16時30分 ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ（火）～（木）<br>22時30分～23時30分 ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ<br>コロナ禍下で現在対面授業ができず、通信環境が整わないためオンライン授業が受けられない子供達に教育番組は役立っている旨国営テレビは評価 |
| 中南米 | ホンジュラス | ホンジュラス国営ラジオ・テレビ局番組ソフト整備計画 | 0.42 | 2016/1/20 | ホンジュラス国営ラジオ・テレビ局に対して、テレビ番組ソフトの整備を行うもの。 | 良質な教育・ドキュメンタリー番組の放送を図り、伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた日本の経験の共有や学校教育の補完に貢献 | ドキュメタリー181本、教育番組561本を調達。平成29年11月～平成31年2月の間に、毎週土日にそれぞれ2時間ずつ放映し、計454回放送。日本の文化社会に対する理解が深まった。 |
| 中南米 | ペルー | パチャカマック博物館遺跡保全機材及び教育機材整備計画 | 1.49 | 2016/7/5 | パチャカマック遺跡の博物館に対して、発掘・収蔵物保存機材、遺跡建造物保存機材及び周辺コミュニティへの教育活動用機材を整備するもの。 | 同遺跡の保全や遺跡に関する啓発・教育活動の活発化や価値の向上を図り、周辺住民の生活向上に貢献。 | **展示物登録数（目標120に対して2,277）、考古学分析数（目標50に対して275）、周辺住民の考古学教育（目標3,000に対して1,849）。**事業実施前（平成26年）の遺跡の新規発掘数は年間80であったが、実施後（令和元年）は1,738まで増加。発掘作業箇所の総面積も約10,000㎡から255,027㎡まで拡大。更に、平成31年3月～令和2年3月の間に行ったワークショップには総計940名が参加。本件事業により、文化財と博物館の活動の発展に大きく貢献するとともに、その価値も高まり、一般国民に良いインパクトを与えている。 |
| 中南米 | パラグアイ | スポーツ庁訓練センター器材整備計画 | 0.99 | 2016/3/24 | スポーツ庁訓練センターに対して、スポーツ器材（重量挙げ、柔道、ボクシング、体操、レスリング、空手）を整備するもの。 | パラグアイ国民のスポーツへのアクセス向上を図り、安全、安心な環境でのスポーツの実施や若者の健全な育成に貢献。 | コロナ禍以前の状況次のとおり。<br>●重量挙げ：利用者数160人。週5日朝昼夜に2～3時間の練習に使用<br>●柔道：利用者数150人。月～土に子供、青少年、大人対象の無料柔道教室開催。2018～19年に国際大会を6大会実施<br>●ボクシング：利用者数60人。週5の練習に使用。<br>●体操：利用者数500人。初中上級者体操教室として使用され、国内選考大会や国代表レベル選手の練習に使用。<br>●レスリング：利用者数150人。月～土の朝と夕方にﾚｽﾘﾝｸﾞ教室等実施。<br>●空手：利用者数300人。スポーツ庁による空手教室、国代表選手の練習や各種大会に使用。2019年に国際大会を3大会実施<br>JICA青年海外協力隊（レスリングと重量挙げ）が過去に派遣されており、調達機材を用いて選手強化に貢献。 |
| 中東 | パレスチナ | ジェリコ・ヒシャム宮殿遺跡大浴場保護シェルター建設及び展示計画（詳細設計） | 0.74 | 2016/2/15 | イスラム建築の代表的な文化遺産であり観光資源でもあるヒシャム宮殿遺跡のモザイク床を保護しつつ、展示のための施設を整備するもの。 | 文化遺産の保全と活用を両立し、同地域の持続的な経済成長促進およびジェリコ及びヨルダン渓谷の経済社会開発を目的とした「平和と繁栄の回廊」構想の下での観光回廊整備に貢献。 | 実施中<br>（完成予定 2021年6月）<br>新型コロナウイルス感染拡大の影響による遅延あり |
| アフリカ | コートジボワール | コートジボワールラジオ・テレビ局番組ソフト及び番組制作機材整備計画 | 0.52 | 2015/12/21 | コートジボワール唯一の国営放送局であるコートジボワールラジオ・テレビ局に対して、番組制作機材の整備及び我が国の教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | コートジボワールにおける放送分野の機能強化、人材育成及び対日理解の促進を図り、安全で安定した社会の回復及び経済成長の加速化に貢献。 | ドキュメンタリー96本、教育番組133本が整備され、放映されている。番組制作機材の供与後、地域に根ざした番組制作、番組のデジタル化が実現。<br>2020年10月の大統領選、2021年3月の国民議会選においても、調達機材により、報道番組の質と内容が向上。定性的指標「2010年選挙以降の政治危機における同国の社会的調和の促進」に貢献 |

# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成26年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アジア | スリランカ | ルパパヒニ国営放送局番組ソフト整備計画 | 0.53 | 2016/9/13 | ルパパヒニ国営放送局に対して、我が国のテレビ番組ソフトの整備を行うもの。 | 我が国の経済社会開発、技術、環境、教育・文化の知識や経験のスリランカ国民への共有や親日感情の醸成を図り、教育の質の向上に貢献。 | 調達されたドキュメンタリー193本、教育番組256本の英語版は、平成30年1月～平成31年2月までに全て放送済。タミル語吹替え版も、平成30年2月～平成31年3月に全て放送。シンハラ語吹替え版は令和元年6月以降、随時放送。対日理解促進、親日感情醸成に寄与。 |
| アフリカ | ジブチ | ジブチ・ラジオ・テレビ放送局番組ソフト整備計画 | 0.45 | 2015/3/23 | ジブチ唯一の国営放送局であるジブチ・ラジオ・テレビ局に対して、我が国のテレビ番組ソフトを整備を行うもの。 | 教育及びドキュメンタリー番組の放送内容の充実並びに伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた日本の経験の共有を図り、放送内容の多様化及び高品質化並びに親日感情の醸成に貢献。 | ドキュメンタリー106本、教育番組313本を調達。平成28年以降、毎週月・金に10分程度の教育番組を放映。視聴者からの調達番組の評価が高く、最近も昼及び夕方の家族団らんの時間帯にほぼ毎日供与番組を放映。特に科学教育番組は教職員及び高校生の関心が高く、日本への留学希望者増加に貢献。また直接聞き取り調査では、コロナ禍下での教育番組放送は子供達の貴重な学びの機会となったとの声が多い。この協力で在ジブチ大と同放送局の連携も強化され、同大使館のジブチでの活動がよく放送される。 |
| アフリカ | チュニジア | チュニジアテレビ番組ソフト整備計画 | 0.37 | 2015/4/15 | チュニジアテレビに対して、我が国のテレビ番組ソフトの整備を行うもの。 | 教育及びドキュメンタリー番組の放送内容の充実並びに伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた日本の経験の共有を図り、放送内容の多様化及び高品質化並びに親日感情の醸成に貢献。 | ドキュメンタリー138本、教育番組177本を調達。平成29年～30年にかけて243本、令和元年に229本を再放送、令和2年に93本を再々放送。同放送局によると、調達した番組を通じて、日本の生活、食文化、スポーツ等が紹介されることで、視聴者の日本文化への理解や関心の高まりに寄与するなど、前向きな評価・反響を得ている。 |
| 中南米 | エルサルバドル | 国営教育・文化テレビ局番組ソフト整備計画 | 0.44 | 2015/3/23 | エルサルバドル唯一の国営テレビ局である国営教育・文化テレビ局に対して、我が国のテレビ番組ソフトの整備を行うもの。 | 教育及びドキュメンタリー番組の放送内容の充実並びに伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた日本の経験の共有を図り、放送内容の多様化及び高品質化並びに親日感情の醸成に貢献。 | 令和3年5月時点で、調達したテレビ番組（ドキュメンタリー237本、教育番組465本）全て放映済み。同テレビ局の話では、コロナ禍下で自宅待機令中に児童向けの教育番組放映は非常に有益であった由。 |
| アジア | モンゴル | 国立博物館収蔵品保存機材整備計画 | 0.42 | 2015/3/11 | ウランバートル市の国立博物館に対して、収蔵品保存環境改善用機材の整備を行うもの。 | 同博物館の文化財の保全及び保存環境の改善を図り、モンゴルにおける文化遺産の保護及び質の高い文化遺産の展示に貢献。 | モンゴル初の国際基準を満たす収蔵保管環境として国内の他の博物館のモデルとなっている。展示物の適切な展境での保管が可能となり、機材を活用する職員の意識・能力も向上。**消毒された文化財、1030点、害虫被害なしを達成。** |
| 中南米 | キューバ | ハバナ市歴史事務所文化会館視聴覚機材整備計画 | 0.75 | 2015/2/13 | ハバナ市歴史事務所に対して、視聴覚機材及び照明機材の整備を行うもの。 | キューバ国民の自国の歴史・文化への関心喚起を図り、文化遺産保存の重要性に関する啓発・教育に貢献。 | 観光客を含む一般市民に公開されており、児童教育支援、セミナーコンサート等を運営。故カストロ議長夫人、スペイン国王等も訪問。2020年3月以降、コロナにより閉鎖されているが、2018年は46,281人、2019年は57,053人、2020年は1,207人の訪問者がある。ライブラリー利用者目標5万人に対し2018年度1万人。交流会開催、目標24回に対し2019年度43回。 |
| 中南米 | ジャマイカ | ジャマイカ研究所展示・視聴覚機材整備計画 | 0.58 | 2015/9/30 | キングストン市のジャマイカ自然史博物館に対して、コンテンツ制作機材を含む展示関連機材等の整備を行うもの。 | ジャマイカの文化・自然遺産への意識強化来館する児童の学習環境の整備、住民の社会参加の促進を図り、ジャマイカの文化・教育振興に貢献。 | コロナの影響により、令和2年3月以降一般公開は取りやめて閉館状態であるが、平成29年以降の来館者数は累計64,921人（計画では年間12,000人）。現在も、ウェブサイト上で調達機材を用いた特設ページ(Virtual Museum)を公開。平成31年4月～令和2年6月まで国際交流基金事業による人形展実施。令和2年3月まで派遣されていたJICAボランティアが日本の伝統人形紹介サイトを同研究所HP内に創設することを支援。 |
| 中南米 | エクアドル | 国際ラテンアメリカ情報高等研究センター地上デジタル放送研修機材整備計画 | 0.86 | 2015/6/16 | 国際ラテンアメリカ情報高等研究センターに対して、撮影機材等の研修用放送・番組制作機材の整備を行うもの。 | テレビ放送番組制作技術者等への放送関連研修の促進を図り、エクアドルの地上デジタル放送技術能力の向上に貢献。 | 平成30年11月時点で、3回/週の学校でのプログラム配信を確認。現在も調達機材を用いて、テレビ放送番組制作技術者等への放送関連研修が継続されている。 |
| 中東 | ヨルダン | ペトラ博物館建設計画（追加支援） | 0.98 | 2015/3/11 | 世界遺産・ペトラ遺跡の遺跡保全と情報発信の拠点となる博物館の建設と機材の整備を行うもの。 | 歴史的文化遺産の展示及び遺跡保存の重要性に関する情報提供の機能強化に貢献。 | 2019年7月～2020年3月までの月間来場者数は約13,000人。現在はコロナのための閉館中。定礎式には国王、開館式には皇太子が出席し、日本の支援に謝辞を表明。国内メディアで大きく取り上げられた、ペトラ開発観光局長官からは「これまでの日本の協力の大変良い成果」と高評価を得ている。 |

# 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成25年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E/N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アジア | ベトナム | ベトナムテレビ番組ソフト整備計画 | 0.49 | 2014/4/11 | ベトナム最大規模の国営テレビ局であるベトナムテレビに対して、教育・ドキュメンタリーテレビ番組ソフトの整備を行うもの。 | ベトナム国民への日本の経験・知識の共有を図り、幅広い層の人材育成や親日感情の醸成に貢献。 | ドキュメンタリー169本、教育番組338本を調達。平成27年～平成29年ですべてベトナム語で放映。同テレビ局と在ベトナム大の連携強化にもつながった。 |
| アジア | ミャンマー | ミャンマーラジオテレビ局番組ソフト及び放送編集機材整備計画 | 0.82 | 2013/10/25 | ミャンマーで唯一全国放送網を有するミャンマーラジオテレビ局に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフト及び放送編集機材の整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験の共有を図り、ミャンマー国民の知識・教育の質向上に貢献。 | 令和元年7月時点で、目標の383番組に対して、334番組を放映済。令和2年7月、コロナ禍の遠隔教育への活用目的で放映権の延長要請があり、同局教育チャンネルで調達番組の一部が放映。 |
| アジア | カンボジア | アンコール・ワット西参道修復機材整備計画 | 0.95 | 2013/12/15 | アンコール・ワットの修復・保全活動を行うアプサラ機構に対して、アンコール・ワットの西参道を修復する上で必要な機材の整備を行うもの。 | アンコール・ワットへの訪問客の安全確保を図り、アンコール・ワットの文化的価値向上に貢献。 | 供与された主要機材7種類はほぼ全てが日常的に使用されている。**クレーン重機操作オペレーター、目標8名に対し12名（R3年5月現在）。**特に小型ローラークレーンは特殊車両で他の機材と代替できず有効的に活用。アンコールワット西参道の保存修復工事はカンボジア政府にとっても最重要な現場であり、アンコールワットの訪問客の安全確保及び文化的価値の向上に大きく貢献。 |
| アジア | モンゴル | モンゴル国営放送番組ソフト整備計画 | 0.72 | 2014/3/11 | モンゴル国営放送に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験の共有を図り、対日理解の促進、親日感情の醸成に貢献。 | ドキュメンタリー178本、教育番組228本を調達。すべて3回以上は放映されており、子供向けの番組、日本の教育に関する番組等がモンゴル国民に評価されている。 |
| 中東 | ヨルダン | ペトラ博物館建設計画 | 6.86 | 2014/3/1 | 世界遺産・ペトラ遺跡の遺跡保全と情報発信の拠点となる博物館の建設と機材の整備を行うもの。 | 歴史的文化遺産の展示及び遺跡保存の重要性に関する情報提供の機能強化に貢献。 | 令和元年7月～令和2年3月までの月間来場者数は約13,000人。現在はコロナのため閉館中。定礎式には国王、開館式には皇太子が出席し、日本の支援に謝辞を表明。国内メディアで大きく取り上げられた、ペトラ開発観光局長官からは「これまでの日本の協力の大変良い成果」と高評価を得ている。 |
| アフリカ | ブルキナファソ | ブルキナファソ国営放送局番組ソフト整備計画 | 0.35 | 2013/9/5 | ブルキナファソ国営放送局に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験の共有を図り、同国における対日理解の促進、親日感情の醸成に貢献。 | ドキュメンタリー90本（目標88）、教育番組303本（目標290）を整備。平成26年～令和元年の間、毎日8時と18時に15分番組が放映。科学等の教育番組、武道等の日本文化紹介番組が人気があり、空手や柔道人口や日本文化に関心を持つ若者の増加に貢献。 |
| 中南米 | パラグアイ | パラグアイテレビ番組ソフト整備計画 | 0.57 | 2014/6/25 | パラグアイ唯一の国営放送局であるパラグアイTVに対して、教育番組やドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 同国民への有益な情報提供を図り、対日理解促進に貢献。 | ドキュメンタリー158本、教育番組331本を調達。平成26年から令和元年まで、月～土で週に3時間分の番組を放映。 2018年の日本関連番組の週あたり平均放送時間は4.59時間。 |
| 中南米 | ペルー | 地上デジタル放送人材育成機材整備計画 | 1.06 | 2014/11/17 | 放送・電気通信分野の専門・技術的人材育成事業を実施する国立工科大学電気通信研究・訓練所に対して、撮影機材等の研修用放送・番組制作機材の整備を行うもの。 | 地上デジタル放送関連研修を受講する技術者の研修環境の改善を図り、ペルーの地上デジタル放送技術の向上に貢献。 | 調達機材は現在も放送・電気通信分野専門家、技術者、学生等の研修で活用。平成29年11月～令和2年3月までに計76回の研修実施。<br>地デジ及び番組制作に関するより専門・技術的な研修実施が可能になり受講者達の地デジの技術に関する知見がより深まった。 |

# 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成24年度

| 地域名 | 国・地域名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 大洋州 | パプアニューギニア | メディア教育機材整備計画 | 0.72 | 2013/2/20 | 遠隔地教育の中心的役割を担う国立教育メディアセンターに対して、教育番組の撮影・編集・保存に必要な機材の整備を行うもの。 | パプアニューギニアにおける遠隔地教育の促進を図り、教育水準向上に貢献。 | 調達機材により制作された学校授業番組はJICAの別スキームと連携し、遠隔地学校の授業番組DVD配布が全国規模で実施。平成29年～令和元年の間で過去アナログ番組をデジタル化したものも含め、1,276本の番組を作成。 |
| アフリカ | ボツワナ | 国営テレビ局番組ソフト整備計画 | 0.44 | 2013/7/29 | 国営テレビ局に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験の共有を図り、地上デジタル放送日本方式の普及に貢献。 | 調達したドキュメンタリー232本、教育番組236本のうち97%を放映。視聴率を測るシステムがないので数値での効果はわからないが、教育番組、特に日本のイノベーションや科学技術を伝えるものは素晴らしいと国営放送総裁は評価。 |
| 中南米 | ペルー | イカ州博物館展示・保存機材整備計画 | 0.50 | 2012/12/18 | イカ州博物館に対して、文化財を適切に保存・展示するための機材や視聴覚機材の整備を行うもの。 | ペルーの文化財の適切な保存・展示を図り、文化振興や教育面での活動に貢献。 | 平成28年～令和2年までに調達機材を用いた写真展等を実施。平成30年以降、JICAボランティア隊員2名も同博物館にて活動を行い。機材の有効活用や積極的広報の実施を促進。調達した耐震補強材等が博物館の文化財保護に寄与し続けている。 |
| 欧州 | コソボ | コソボフィルハーモニー交響楽団楽器整備計画 | 0.58 | 2012/9/10 | コソボフィルハーモニー交響楽団に対して、楽器の整備を行うもの。 | 市民の生活の質の向上を図り、人材育成や親日感情の醸成に貢献。 | 令和3年5月現在、年間20～25公演のコンサートを実施（目標22公演）。また、独立記念日や大統領就任式等特別な式典でも演奏。演奏技術向上、レパートリー増加が実現。メディアからも頻繁に取材あり。 |
| 中南米 | エクアドル | 公共放送局番組ソフト整備計画 | 0.37 | 2013/4/10 | エクアドル公共放送局に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験の共有を図り、地上デジタル放送日本方式の普及に貢献。 | 令和元年5月時点で、供与された番組ソフト（ドキュメンタリー150本、教育番組362本）が全て放映されており、当初目標を達成。国内での親日感情醸成に貢献。 |
| 中南米 | コスタリカ | 国営ラジオ・テレビ局放送機材整備計画 | 0.72 | 2013/3/13 | コスタリカ唯一の国営放送局である国営ラジオ・テレビ局に対して、地上デジタル放送用の番組撮影・保存機材の整備を行うもの。 | コスタリカの地上デジタル放送移行の促進を図り、地上デジタル放送日本方式の普及に貢献。 | 調達した機材を用いて、平成25年から令和3年までに10,333番組を作成。現在、機材が使用されている時間は1日あたり約18時間、年間で約2,496時間。7割がスタジオ撮影、3割が現場撮影にて使用されている。 |

# 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-1．過去10年の実績

平成23年度

| 地域名 | 国名 | 案件名 | 供与限度額（億円） | E／N署名日 | 案件概要 | 目的 | 評価 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| アジア | カンボジア | カンボジア工科大学地圏資源・地質工学部教育機材整備計画 | 0.56 | 2011/8/15 | 新設されるカンボジア工科大学地圏資源・地質工学部に対して、実習授業で必要となる教育機材の整備を行うもの。 | 鉱業活動を担う人材の育成を図り、鉱業や地質学の分野における我が国と同国との交流活発化に貢献。 | 同大学3年生は12時間/週、4年生は19時間/週、5年生は30時間/週で調達機材を用いて実験を行っている（目標13時間/学年）。地圏資源・地質工学部の学習環境整備に大いに役立っており、地質学・鉱物学の教育レベル及び同分野の官民の人材育成に貢献。 |
| アジア | モンゴル | 文化遺産センター分析機材整備計画 | 0.47 | 2012/3/12 | 文化遺産センターに対して、文化財保存・修復に先だつ診断・分析に必要な機材の整備を行うもの。 | 文化財保護や修復文化財の展示の促進を図り、文化・経済活動振興に貢献。 | これまで調達機材を用いて得られた分析結果から多くの文化財資料の材質や技法に関わる情報を得ることができた。50か所の遺跡の出土資料や材質調査の分析、1,400点のサンプル情報を分析し、モンゴルの歴史に関わる重要な発見があった。 |
| アジア | スリランカ | ケラニア大学及びサバラガムワ大学日本語学習機材整備計画 | 0.48 | 2012/3/6 | 日本語課程を設置するケラニア大学及びサバラガムワ大学に対して、語学学習環境の向上を目的としたLL（Language Laboratory）システムや視聴覚機材の整備を行うもの。 | 語学運用能力を高める教育の促進を図り、スリランカにおける日本語教育の促進と将来の知日家育成に貢献。 | ケラニア大学では、日本語専攻の学生約180名（目標132人）が利用しており、日本語能力向に寄与。サバラガムワ大学では、整備により日本語専攻学生数が60名から80名に増加（目標73人）。日本語専攻学生の半数が日本語能力試験N2レベルを合格している。 |
| アジア | パキスタン | 国立民俗文化遺産研究所視聴覚機材整備計画 | 0.49 | 2012/5/14 | 国立民俗文化財研究所に対して、無形文化財の視聴覚資料制作、上映、催事等を行うための視聴覚機材の整備を行うもの。 | 無形文化財の知的財産としての保存と活用を図り、国民への知識の普及と伝統工芸職人等の経済活動促進に貢献。 | 日本から提供された視聴覚機材を活用して、現在も様々な無形文化財の視聴覚資料が制作され、できあがった作品はテレビ局に提供したり、DVD化されたり、SNSで共有されている。 |
| 中南米 | キューバ | 国営ラジオ・テレビ協会番組ソフト整備計画 | 0.32 | 2012/3/9 | キューバ唯一のテレビ及びラジオの放送局である国営ラジオ・テレビ協会に対して、教育・ドキュメンタリー番組ソフトの整備を行うもの。 | 伝統文化を守りつつ経済発展を遂げた我が国の経験及び教育の普及を図り、経済活動分野を含む幅広い層の人材育成に貢献。 | 調達したドキュメンタリー112本、教育番組476本は平成25年中にすべて放映済み。ドキュメンタリーを通じて、当時はまだあまり馴染みのなかった日本社会・日本文化についてキューバ国民に広く伝えられたことは大変意義深く、とりわけ児童向け教育番組はその質の高さから人気を博したと同協会は評価。 |
| 中南米 | コロンビア | コミュニティ・先住民ラジオ放送局番組制作機材整備計画 | 0.67 | 2011/9/13 | 地域の災害・防災の主要情報源となっているコミュニティ・先住民ラジオ放送局に対して、番組制作機材の整備を行うもの。 | 地域住民の情報アクセス改善を図り、平和構築や防災教育に貢献。 | 機材によりこれまで141件の視聴覚コンテンツが制作（目標20本/年）。長年社会的に排除されてきたマイノリティ（先住民、アフリカ系紺ビア人等）の情報へのアクセスが可能となり、対象地域のデジタル格差が改善。 |

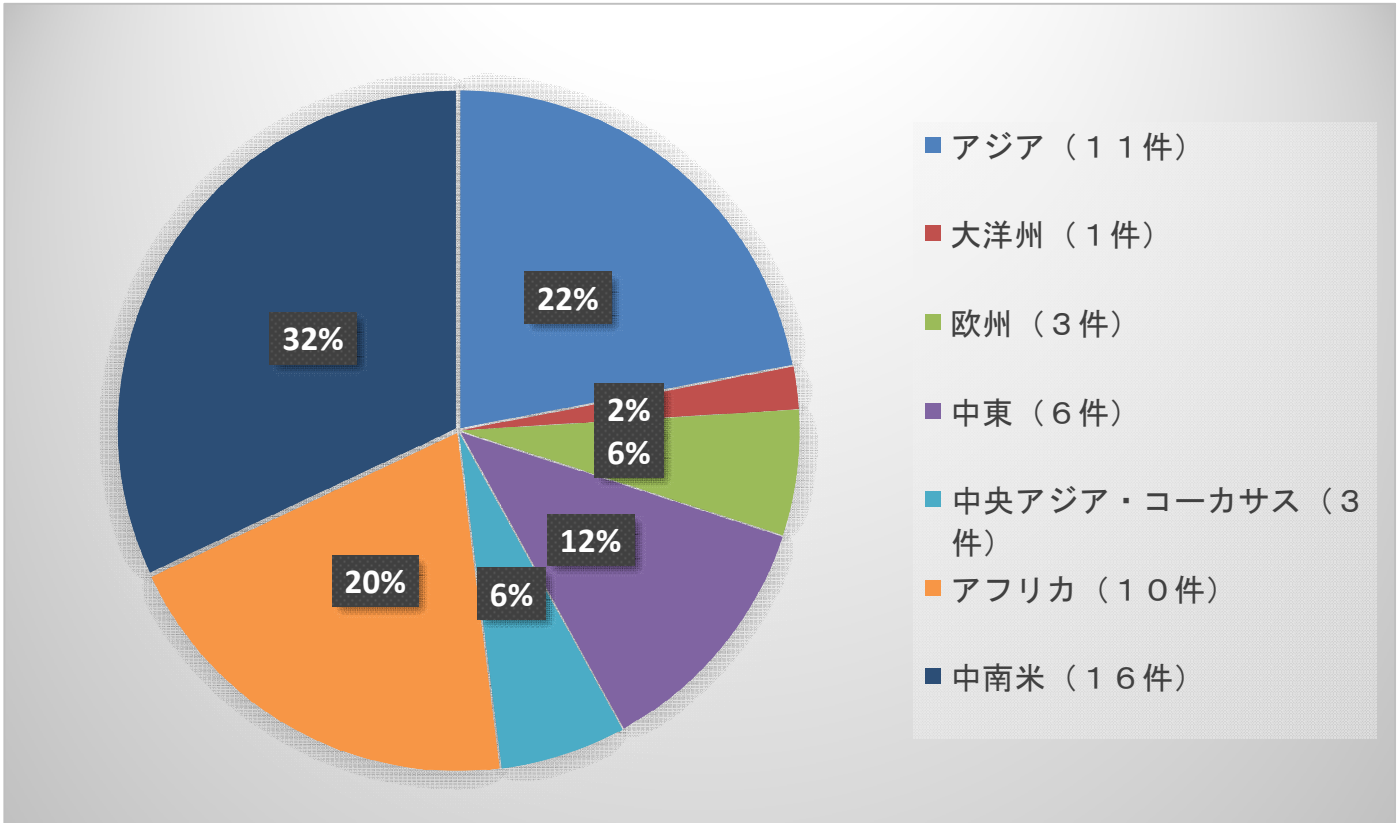
# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-2．過去10年の実績

### 地域別案件数（平成23年度～令和2年度）




開発協力大綱を踏まえ、世界各地域に対し、その必要性と特性に応じた協力を行っている。
日系社会の存在が我が国との強い絆となっていることから中南米地域の案件数が多い。

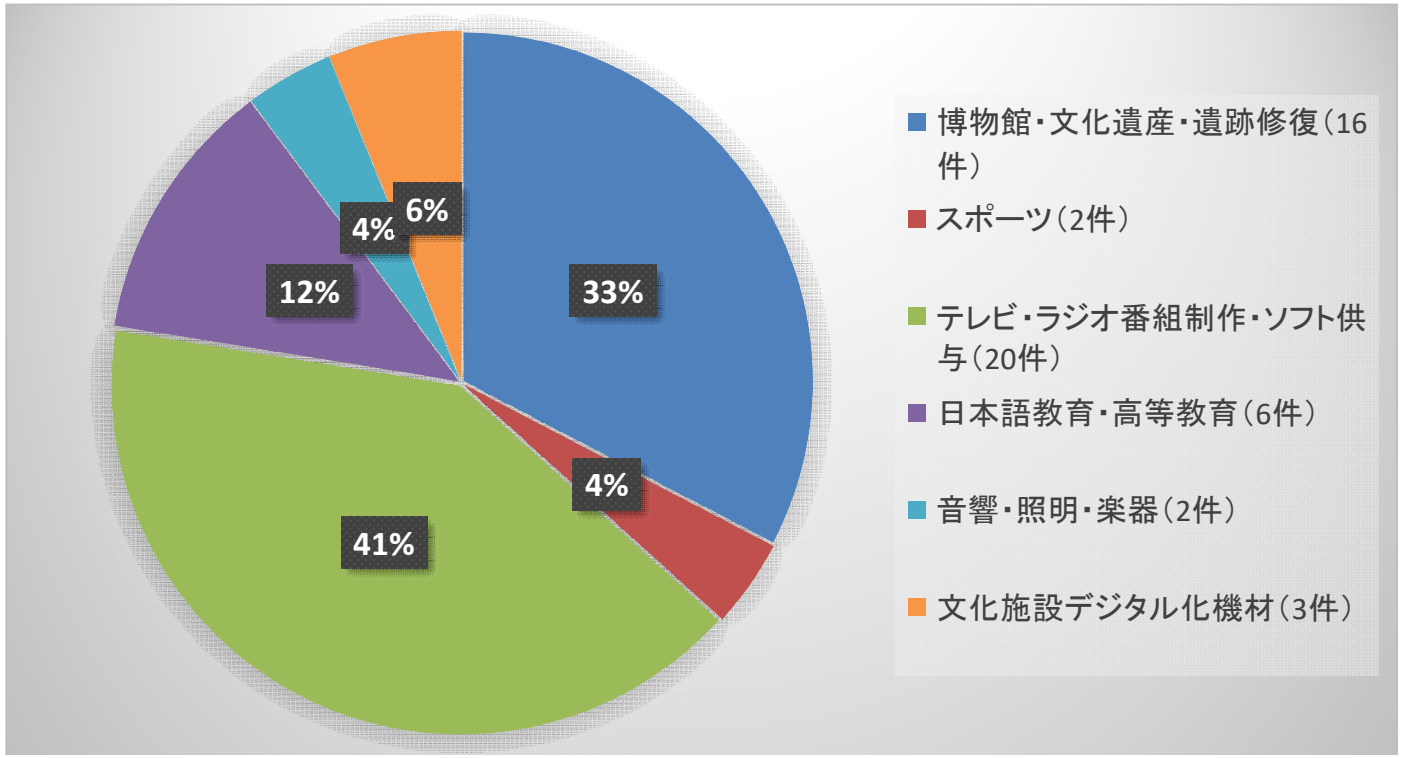
# 一般文化無償資金協力



## 3．一般文化無償資金協力の実績

## 3-2．過去10年の実績

### 分野別案件数（平成23年度～令和2年度）




親日感情の醸成や対日理解促進を通じた相手国との関係強化といった外交政策上の観点を踏まえて実施しており、テレビ・ラジオ番組製作・ソフト供与と博物館・文化遺産・遺跡修復分野の支援で全体の74%を占める。

# 一般文化無償資金協力（外務省 文化交流・海外広報課）

## 現状と課題

○日本は、精神的な豊かさをもたらす文化・スポーツ分野の支援を「質の高い成長」実現にとって重要な要素として、開発協力大綱で重点課題に位置づけ、無償資金協力の実施にあたっても、当該分野を重視している。他方、基礎生活分野に比べると開発途上国側の優先順位は低くなるのが現状であり、優良案件の発掘を意識的に行う必要がある。
○国際社会でも評価の高い日本のソフトパワー等の「日本の持つ強みを活かした協力」は、開発途上国の課題への対処にとって有用であるのみならず、外交的な意義も大きいことから、当該分野の支援を継続的に実施していくことが必要。

## 事業の目的と概要

○一般文化無償資金協力は、精神的な豊かさをもたらす文化・スポーツ分野の開発を推進することにより、人間中心の開発を進め、「『質の高い成長』とそれを通じた貧困削減」を実現することを目的に、開発途上国の政府機関に対し、文化・高等教育振興に使用される資機材の購入や施設の整備を支援するもの。
○日本のソフトパワー等の日本の強みを活かした支援を行うことにより、親日感情の醸成や対日理解促進に特に高い効果が期待できる分野であり、このような外交政策上の観点も踏まえつつ実施。
○これまで、文化施設（博物館，劇場等）の整備、展示機材・照明機材・音響機材等の供与、遺跡修復・保存・活用のための機材供与（修復人件費等ソフト支援は対象外）、スポーツ施設の整備，スポーツ機材の供与（日本武道を含む）、テレビ番組制作機材供与等を実施。

令和４年度概算要求額未定（平成30年度予算額160,471百万円の内数、令和元年度予算額163,100百万円の内数、令和２年度予算額163,197百万円の内数、令和３年度予算額163,197百万円の内数）

## アクティビティ・アウトプット、短期的アウトカム

### ○柔道スポーツ施設建設計画
◎同国初となる観客席を備えた屋内スポーツ施設の建設及び機材を整備

コンゴ（民）（H30年度）

●本施設の利用者数（柔道、空手、合気道、柔術、バレー、バスケットボール）（人/年）
0（2016年度）→13，200（事業完成3年後）
●大会参加数
0（2016年度）→4，700（事業完成3年後）
●観客数
0（2016年度）→11，600（事業完成3年後）
●本施設での大会の実施回数（回／年）
0（2016年度）→10（事業完成3年後）

（供与限度額：13.95億円
（2022年度完工予定）

### ○マダガスカル国営テレビ局番組制作機材及び番組ソフト整備計画
◎テレビ番組制作に必要な機材及び番組ソフトの整備

マダガスカル（H30年度）

●自社制作ﾄﾞｷｭﾒﾝﾀﾘｰ番組本数（本/年）
58（2017年度）→73（事業完成3年後）
●自社制作教育番組本数（本/年）
300（2017年度）→400（事業完成3年後）
●大規模撮影*本数（本/年）
70（2017年度）→105（事業完成3年後）
（*スタジオ以外で開催される国会，スポーツ，イベント等の大規模な撮影）

（供与限度額：1.64億円）
（2022年度完工予定）

### ○ピスカクチョ地区のマチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンター展示機材整備計画
◎マチュ・ピチュ歴史保護区ビジターセンターに対して、展示機材を整備。

ペルー（H30年度）

●展示される自然・文化遺産のコンテンツ数（点）
3（2018年度）→38（事業完成3年後）
●上映ビデオコンテンツ数（本）
0（2018年度）→3（事業完成3年後）

（供与限度額：0.74億円）
（2023年度完工予定）

## 長期的アウトカム

○柔道等の武道を中心としたスポーツ振興及び青少年の健全な育成を図り、国内の平和の定着に貢献。
○現地柔道連盟等との連携により、日本の武道である柔道の普及に貢献。

○国営テレビ局の番組制作能力向上を図り、国民に提供される情報の多様化や放送を通じた学びの機会拡大に貢献。
○日本のドキュメンタリー番組87本，教育番組55本を放映することで対日理解の促進に貢献。

○国内外からの訪問者や地域住民に対する自然・文化資源保護に関する啓発活動を促進し、自然・文化遺産の保護に貢献。
○日本の協力事業である旨広報することで親日感情の醸成に貢献。

## インパクト

○開発途上国における文化・教育の発展を通じた「質の高い成長」の促進。
○親日感情の醸成や対日理解促進を通じた相手国との関係強化。